

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 7 年 2 月 26 日(2025.2.26)

【公開番号】特開 2023-116202(P2023-116202A)

【公開日】令和 5 年 8 月 22 日(2023.8.22)

【年通号数】公開公報(特許)2023-157

【出願番号】特願 2022-18865(P2022-18865)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 2 月 17 日(2025.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 0 6】

本発明の代表的な一形態では、遊技を実行可能な遊技機において、遊技者に付与された遊技媒体の数又は遊技者に付与されることが決定された遊技媒体の数と、使用された遊技媒体の数との差に基づく計数値を計数する計数手段と、計数値に基づく所定条件の成立によって、遊技を実行できない遊技不可状態を発生可能な遊技停止手段と、複数の発光部から構成される遊技情報表示部に遊技に関する遊技情報を発光と消灯の組合せにより表示可能な遊技情報表示制御手段と、所定の演出動作を行う可動演出装置と、可動演出装置の動作を制御可能な演出制御手段と、遊技者による操作を受付可能な位置に第 1 操作部があって当該遊技機の音量調整を実行可能な第 1 音量調整手段と、遊技者による操作を受付不能な位置に第 2 操作部があって当該遊技機の音量調整を実行可能な第 2 音量調整手段と、を
備え、遊技停止手段は、遊技不可状態の発生が抑止されている抑止状態を発生可能であり、
遊技情報表示制御手段は、遊技不可状態で複数の発光部を全消灯し、演出制御手段は、
遊技不可状態の発生後に可動演出装置が初期位置以外の動作位置に位置している場合、可
動演出装置を動作位置から初期位置に戻し、第 1 音量調整手段は、遊技不可状態において
第 1 操作部による操作があった場合に当該遊技機の音量調整を実行可能にせず、第 2 音量
調整手段は、遊技不可状態において第 2 操作部による操作があった場合に当該遊技機の音
量調整を実行可能にする。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を実行可能な遊技機において、
遊技者に付与された遊技媒体の数又は遊技者に付与されることが決定された遊技媒体の数
と、使用された遊技媒体の数との差に基づく計数値を計数する計数手段と、
前記計数値に基づく所定条件の成立によって、前記遊技を実行できない遊技不可状態を
発生可能な遊技停止手段と、
複数の発光部から構成される遊技情報表示部に前記遊技に関する遊技情報を発光と消灯の

50

組合せにより表示可能な遊技情報表示制御手段と、
所定の演出動作を行う可動演出装置と、
前記可動演出装置の動作を制御可能な演出制御手段と、
遊技者による操作を受付可能な位置に第 1 操作部があって当該遊技機の音量調整を実行可能な第 1 音量調整手段と、
遊技者による操作を受付不能な位置に第 2 操作部があって当該遊技機の音量調整を実行可能な第 2 音量調整手段と、
を備え、
前記遊技停止手段は、前記遊技不可状態の発生が抑止されている抑止状態を発生可能であり、
前記遊技情報表示制御手段は、前記遊技不可状態で前記複数の発光部を全消灯し、
前記演出制御手段は、前記遊技不可状態の発生後に前記可動演出装置が初期位置以外の動作位置に位置している場合、前記可動演出装置を前記動作位置から前記初期位置に戻し、
前記第 1 音量調整手段は、前記遊技不可状態において前記第 1 操作部による操作があった場合に当該遊技機の音量調整を実行可能にせず、
前記第 2 音量調整手段は、前記遊技不可状態において前記第 2 操作部による操作があった場合に当該遊技機の音量調整を実行可能にする、
遊技機。

10

20

30

40

50